



つばさ

胎内市立中条小学校
在校児童：384名
第2号



中条小HP
QRコード

運動会に思う

校長

5月23日に運動会が行われました。力いっぱい走る、力を合わせて競技する、懸命に応援する、係の仕事に汗を流す等、子どもたちが、自分の力を出し切ったすばらしい姿でした。感動しました。

保護者、地域の皆様からは、温かいご声援をたくさんいただきました。また、駐車場についてご協力いただき、多くの皆様にスムーズに運動会に来ていただけました。誠にありがとうございました。

今年もよい運動会となりました。

「赤白ともに 全力出し切り 勝利をめざせ！」

これが今年の運動会のスローガンでした。6年生の運営係が中心となって、丁寧なプロセスで決めてくれました。このスローガンの他にも「赤白激突 勝利をつかめ！ つばさっ子」と「鳥坂山に ひびかせろ！ つばさっ子の絆パワー」というスローガンの候補がありました。3つの候補それぞれについて「なぜ、この言葉にしたのですか？」と尋ねたところ、「6年生だから悔いを残さないという思いを込めました」や「中条らしい言葉を使いたかったからです」などの言葉が返ってきました。スローガンには、子どもたちの様々な思いが込められていました。これら3つの候補を全校に示し、多数決で決めたものが、上の「赤白ともに 全力出し切り 勝利をめざせ！」でした。

とてもよいスローガンです。特に「出し切り」という言葉が、私は好きです。「力を出し切る」という行為は、終わった後に「出し切ったか」、「出し切れなかったか」をはかるものではなく、今この時に全力を出すこと、その積み重ねが「出し切った」という思いにつながります。「出し切る」ということは、結果ではなく、今を大切にすることなのだと思います。運動会までの日々と運動会当日の子どもたちは、まさにそのような姿でした。

子どもが行った行為や発した言葉について、意味づけをし、時には価値づけをして、それを子どもに伝えることは大切です。上の「出し切る」は、私の解釈ですが、「今、することを全力でします」と伝えると、子どもたちはやる気を出して、頑張ってくれます。このことを見守り、「頑張りました。いい姿でした」と返してやるとさらにやる気を高めます。これらの一連の働き掛けが子どもを育てます。教育は、このような営みのくり返しなのだと思っています。





令和8年度 胎内市立中条小学校 グランドデザイン

地域の参画
地域との協働
◎地域とともに歩む学校づくり

学校運営協議会

地域コーディネーター
PTA 後援会
つばさっ子ボランティア
中条つばさ会

<教育目標>
かしこく(知) やさしく(徳) たくましく(体)

<児童像>
自分で考え、ともに行動する子

○学習指導要領
○令和8年度 新潟県「学校教育の重点」
「児童生徒が主役の授業をとおした確かな学力の育成」
「いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成」
○胎内市教育の基本理念
「教育は人をつくり、地域をつくる 崇高な営み」

自分の考えをもち、学び合う子

<育成する力>
確かな学力(知)
◎問題解決力の育成と基礎基本の定着

自他のよさに気付きかかわる子

<育成する力>
共に行動する力(徳)
◎豊かな人間関係を築く態度と能力の育成

運動や健康づくりに取り組む子

<育成する力>
継続する力(体)
◎自分で決めたゴールまで粘り強く取り組む態度の育成

<成果目標>
◎ ワークテスト(国語・算数)における各学級の平均点が全国平均点を上回る。

<具体的取組>
1 対話のある場を意図的に設定する授業の日常化と効果的な板書の工夫
2 「モジュールタイム」の活用や学年テスト等による基礎学力の定着とその状況の評価
3 学習規律の精選と定着
4 家庭学習の習慣化を図る家庭学習強調週間の実施と「家庭学習のススメ」の活用
5 地域素材を生かした総合的な学習の時間・生活科の実践と成果の表現や貢献

<成果目標>
◎ 友達や先生、家族、地域の方等、進んであいさつできる子どもを85%以上にする。

<具体的取組>
1 進んであいさつをする実践的な活動を全校で実施(中条中学校区の連携等)
2 「胎内市あいさつの日」に、学年や委員会が中心となり、進めるあいさつ運動
3 「あいさつ合言葉」を活用した日常的な実践
4 よさを発揮できる学級活動、委員会活動の工夫と振り返りの位置づけ
5 人権教育、同和教育の計画的な授業実践

<成果目標>
◎ 体育の授業や運動遊びを通して、体を動かすことの楽しさや心地よさを感じたと答える子どもを80%以上にする。
◎ ばにす週間のみんなのメディアルールを守ることができた子どもを80%以上にする。

<具体的取組>
1 これまでのモデルプラン・運動例の作成と活用
2 体育授業における「楽しさ・心地よさ」の振り返りの設定
3 運動委員会による多様な運動遊びイベントの企画・実施
4 「ばっちりここにこすつきりカード」を活用した生活リズムの振り返り
5 「家庭での『機器』使用ルールか条」の見直しと子ども自身によるルール設定活動

特別支援教育の理念をすべての教育活動の基盤に
「一人一人の実態に応じた適切な指導、支援を行う」
・全校体制での指導：校内支援委員会 ・関係機関と密接な連携、協働 ・指導、支援の計画の作成→実践・評価・改善

【コミュニティスクール目指す子どもの姿】
◎夢に向かっていろいろな体験ができる子
・つばさっ子秋祭り
・キャリアについて考える機会の提供

◎ふるさとを愛し、よりよく生き抜く子
・総合的な学習の時間、生活科の学習
・人や地域への貢献活動
・子どもたちの自己有用感を高める活動

◎自分自身を見つめ、課題をとらえられる子
・自分の考えをもつ、教育の場の設定
・問題解決的な学習過程

保護者、地域の方々との連携・協働による学校教育

【PTA】
○ 学習参観、学校行事参画
○ 健やかな子どもの育成を目指したPTA活動
○ つばさっ子秋祭りへの参画(指導者、活動補助)
○ PTA広報「さんせん橋」の発行(年3回)

【学校支援ボランティア】
○ 学習支援(校外学習引率、スキー授業補助、書き初め指導、ミシン指導等)
○ すこやか(安全指導、あいさつ等)
○ 図書館(読み聞かせ、読書環境の整備等)
○ 環境整備(校内掲示・鯉のぼり・七夕飾り・門づくり等)
○ つばさっ子秋祭りへの参画(出前教室の講師等)

【学校運営協議会】
○ 学校評価計画に基づく確かな評価と意見、助言→改善
○ 学校運営協議会での熟議→地域のよさを学校教育へ

【後援会、中条つばさ会】
○ 地域の声を学校に、学校の取組を地域へ

↑
胎内市学校教育の重点
「地域とともに歩む学校づくり」

【保護者との連携】
○ 「目指す子ども像」の共有
○ 学校の情報を迅速に→学校メールの有効活用
○ 各種活動を伝えるホームページやたより等の工夫

【子ども園・保育園】
○ かけ橋プログラムの実施
<園と小学校の連続性：交流活動と情報の共有等>

令和8年度の支援学級は、児童数58人、全9クラスでスタートしました。保護者の方と相談しながらお子さん一人一人に合わせた支援計画・指導計画を作成し、指導方法を工夫しながら学級経営を行っています。学習上または生活上の「苦手」を軽減させることをねらった自立活動や、「わかった」「できた」と実感しながら個々の進度に合わせて取り組めるように教科学習や自立活動、生活単元学習に取り組んでいます。また、中条小学校の特別支援学級では、胎内市で導入された「ぱすのーと」を活用しています。小児発達に関わる医療や胎内市の福祉サービス等のネットワークと繋がることで、支援が必要なお子さんに必要な支援が届けられ、より確かな成長が促されることを期待しています。

お子さんの健やかな成長にとって大切なのは、お子さんに合わせた学びの場を提供することです。「支援学級で学んでよかった」と実感してもらえるように、担任10名と支援員12名のスタッフで、力を合わせて取り組んでいきます。

(特別支援学級主任)

ことばの教室は、胎内市の全ての小学校の通常の学級に在籍する児童を対象とした言語障害通級指導教室です。

- ・特定の音がうまく発音できなかつたり、発音が不明瞭だつたりするお子さん。
- ・話すときに、繰り返したり、音を伸ばしたり、なかなか声が出てこなかつたりする吃音のお子さん。

などが主に対象となります。ことばの教室での学習は、一対一で行い、児童の現在の状況やがんばっていることをしっかりと認め、褒めて指導を進めます。遊びも取り入れて、児童が意欲的に通級できるように工夫しています。うまく話せないので話さない、うまく読めないで勉強をやりたくないなど、心の問題や学習の問題にならないよう、早めの相談をお勧めします。ことばの面から精一杯サポートさせていただきます。

(ことばの教室担当)

サポートルームは、普段は自分の学級で学習しながら、週に数時間通う、通級指導教室です。教室で落ち着きがない、集中できない、不安になる、友達とうまくかかわれない、一生懸命学習しているのに学習が身につかない、など個別の支援を必要としているお子さんを指導の対象としています。

個々に目標を決め、「自立活動」と呼ばれる、対人関係やコミュニケーションスキルを高める訓練、「読む」「書く」「計算する」など学習を助ける指導を行っています。お子さんの実態に合わせて、個別指導、グループでの指導を行います。できたことを一つ一つ褒めながら、ゆったりとした気持ちで活動できるように工夫しています。対象は通常学級に通うお子さんです。心配なことがあればいつでもご相談ください。

(サポートルーム担当)

つばさっ子ボランティア 今年度もよろしくお願いします！！

赴任してまもなく、地域の皆様が登下校の見守りをはじめ、校内掲示の整備、読み聞かせ、学習支援など、様々な形で子どもたちを支えてくださっていることを実感し、その温かさに深く感銘を受けています。学校はこれほど多くの方々のご尽力によって支えられているのだと、あらためて感謝の気持ちでいっぱいです。新校舎への移転を機に、児童たちも新鮮な気持ちで日々の学びに取り組んでおります。子どもたちが充実した学校生活を送れるよう、今年度も変わらぬご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いします。



(ボランティア担当)

運動会結団式の様子



6月の主な行事予定

1日(月)	読み聞かせ(4～6学年) 後援会地域代表者会	17日(水)	水曜特別時程
2日(火)	委員会③	22日(月)	◇1～3、6年5限後下校 ◇4～5年6限後下校
3日(水)	全校5限		読み聞かせ(1～3年)
5日(金)	訪問給食(1年生) 諸校費引落日		つばさっ子体験隊Ⅰ予備日
8日(月)	1～3年5限後下校 4～6年6限後下校 読み聞かせ(1～3年) つばさっ子体験隊Ⅰ (午前:4年1組 午後:4年2組)	23日(火)	つばさっ子体験隊Ⅲ① (6年生)～佐渡1日目～
9日(火)	クラブ① ばにす週間(～15日(月)まで)	24日(水)	つばさっ子体験隊Ⅲ② (6年生)～佐渡2日目～ PTA1年生学年行事
10日(水)	あいさつの日(生活委員会) 中条つばさ会	25日(木)	1、2、6年5限後下校
11日(木)	スクールカウンセラー来校	26日(金)	全校5限 全校朝会
12日(金)	全校5限	29日(月)	読み聞かせ(4～6年) 児童会行事「いじめ見逃しゼ ロスクール集会」
15日(月)	あじさい読書週間(～19日(金)まで) 読み聞かせ(4～6学年)	30日(火)	訪問給食(4年生) クラブ②
16日(火)	委員会④		